



**南部陽一郎特別栄誉教授 ノーベル物理学賞受賞 10周年記念国際シンポジウム  
南部先生の御子息 南部 潤一氏が来訪されます**

2018年12月12日(水)・13日(木)の2日間、南部陽一郎物理学研究所(Nambu Yoichiro Institute of Theoretical and Experimental Physics(NITEP))の設立を記念して大阪市立大学において開催される「南部陽一郎先生 ノーベル物理学賞受賞 10周年記念国際シンポジウム」に、南部先生の御子息である南部 潤一(John Nambu)氏が来訪されます。12日(水)11時より、南部氏への囲み取材の場を設けさせていただきますので、是非ともご取材ください。

南部陽一郎物理学研究所 URL : <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/mathsci/NITEP/index.html>

※ご取材について

南部氏へのインタビューを希望される場合は、事前に大阪市立大学広報室までお申し込みください。

【南部氏の来訪に関するスケジュール】

2018年12月12日(水)		
南部陽一郎先生 ノーベル物理学賞受賞 10周年記念国際シンポジウム(1日目) および囲み取材		
8:00	受付開始	
8:50 - 9:00	開会あいさつ	荒川 哲男(大阪市立大学 学長)
9:00 - 9:10	あいさつ	南部 潤一(John Nambu)氏
11:00 - 12:00	南部 潤一氏 囲み取材 場所: 学術情報総合センター10F 特別会議室1 コーディネーター: 櫻木 弘之(大阪市立大学 副学長 専門: 物理学)	

※9:45 - 18:00 シンポジウム

<参考> 南部陽一郎先生 ノーベル物理学賞受賞 10周年記念国際シンポジウム

「素粒子・核物理学における対称性の自発的破れ」とそれに関連する現代物理学の最新の動向と今後の展開について、理論物理学および実験物理学の各分野において活躍する著名な国内外の一流研究者による招待講演を中心に、2日間にわたって講演会と参加者による討論を展開します。

【開催日】2018年12月12日(水)・13日(木)

【開催場所】大阪市立大学杉本キャンパス 学術総合情報センター10階 大会議室

【プログラム】<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/mathsci/nambu2018/program.html>

【招待講演者】H.B. Nielsen 氏(デンマークニールスボーア研究所 教授)

W.F. Vinen 氏(英国バーミンガム大学 教授)

飯嶋 徹氏(名古屋大学 教授、素粒子宇宙起源研究機構 現象解析研究センター長)

梶田 隆章氏(東京大学 教授、東大宇宙線研究所長、2015年ノーベル物理学賞受賞者)

川合 光氏(京都大学 教授)

小西 憲一氏(イタリア・ピサ大学 教授)

細谷 裕氏(大阪大学 教授)

中家 剛氏(京都大学 教授)

小林 研介氏(大阪大学 教授)

その他 数名(大阪市大関係者含む)

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学 広報室 担当: 三苫(みとま)

TEL: 06-6605-3411